

「マムシ咬傷に対するプレホスピタルでの対処法および医療施設での
治療法、および予後についての実態調査」
医学情報の研究利用について

兵庫県立尼崎総合医療センター救命救急センターは、このたび日本中毒学会事例調査—研究委員会の活動の一環として『医療施設におけるマムシ咬傷の実態およびその対応についての調査』を全国 150 の施設と共同で研究を行うこととなりました。調査対象になるのは、平成 23 年 1 月から平成 28 年 10 月までにマムシ咬傷後に救急医療施設に搬送された患者さまです。

調査項目は、年齢、性別、臨床症状、治療方法、予後などです。この調査項目はすべて既存のデータのみであり、データ上すべての患者さまは匿名化され、お名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らかの負担が生じることもありませんのでご安心下さい。調査したデータは、主幹施設である埼玉医科大学病院救急科にて集計後、他の 150 施設から同様に送られてきたデータとともに、埼玉医科大学病院救急科において解析を行います。データについては、研究期間中(平成 28 年 11 月から平成 30 年 3 月)は、研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料・電子データは匿名化した状態で可能な限り長期間保存します。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで発表されることがあります。

本研究の調査対象の患者さまで調査に同意されない方はお申し出下さい。このお知らせは平成 29 年 3 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日まで兵庫県立尼崎総合医療センター救命救急センター内に掲示します。

この件に関しまして、ご質問などがございましたら、下記研究責任者に遠慮なくお尋ね下さい。

研究責任者
兵庫県立尼崎総合医療センター救命救急センター
吉永孝之
電話:06-6480-7000